

ヒヤリ・ハット事例集

このコーナーでは安全衛生情報センターより配信されています「ヒヤリ・ハット事例」をご案内致します。ヒヤリ・ハットは結果として事故に至らなかったものであるため、直接の関係者は「ああよかった」と直ぐに

忘れがち。しかし重大な事故が発生した際には、その前に多くのヒヤリ・ハットが潜んでいた事が明らかになっています。そこで、職場や作業現場などでは、あえて各個人が経験したヒヤリ・ハットの情報を公開させ、蓄積、共有することで、重大な労働災害の発生を未然に防止する事が出来るようになります。この事例はほんの僅かな事ですが、皆様の環境に照らし合わせ、危険予知活動の一環にご利用頂ければ幸いです。

転落・墜落のヒヤリ・ハット事例

- 1・鉄骨造平屋倉庫の新築工事で、鉄骨の上棟のため高さ約4.7m、幅約12cmの梁の上でシノをテコにしてボルト穴の調整をしていたところ、シノが外れ反動でバランスを崩し地上に転落しそうになった。
- 2・資材置場で積層材を降ろすため、約2.5mの高さに積み重ねてある積層材に足を掛けてよじ登り、上部の積層材を引っ張り降ろそうとしたときに体のバランスを崩して墜落しそうになった。
- 3・倉庫内で、フォークリフトに積んだパレットを高さ2m30cmまであげ、そのパレット上でワイヤーロープをアングルにかけているときに、バランスを崩し、地面に墜落しそうになった。
- 4・午後2時頃、家屋の解体現場で屋根の瓦を取り外し地面に投下する作業をおこなっていたところ誤って屋根の張り板を踏み抜き落下しそうになった。



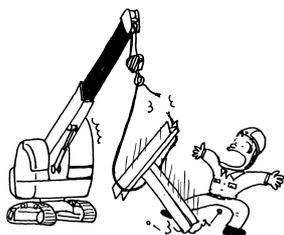
転倒のヒヤリ・ハット事例

- 1・材料を取るため倉庫のドアを開け、中に入ろうとしたところ、暗かったため床に置いてあった部材に気付かずつまずいて転倒しそうになった。
- 2・午後2時頃、バックホーで残土整理中、重機から降りる時足を滑らして転倒し、そのまま斜面を滑り落ち、下に置いてあった廃棄用鋼材に激突しそうになった。
- 3・午後2時30分頃、商品を配達した後、手押し台車を押して歩行中、台車の車輪が側溝に落ちて急に止まったので、その上に乗り上げて転倒した。



落下によるヒヤリ・ハット事例

- 1・二階吹き抜け手すりの近くで、暖房機を組立作業中に、手すりの隙間から電動ドライバーを落とし、下の作業者に当たりそうになった。
- 2・基礎工事の資材置場において、H鋼材2本をクレーンで吊り上げトラックの荷台に移す作業を行っていたところ、鋼材を吊っていたワイヤーが切れて落下した。
- 3・午前11時頃、公園内のベンチの基礎コンクリート部分を20番のブレイカーではつり作業中、アベックが気になり誤ってブレイカーを落とし、危うく足にぶつけそうになった。



はさまれ・巻き込まれによるヒヤリ・ハット事例

- 1・鉄骨を移動式クレーンで吊り上げるため、クレーン車の位置決めを行なったとき、アウトリガー受け用補強鋼板を、アウトリガーのフロート位置に仮置きし、フロートを下げていたところ、補強鋼板が少し（約3センチ）ずれていたため、手で直そうと思い右手で押したと同時にアウトリガーが下がってきて、補強鋼板とフロートとの間に指を挟まれそうになった。
- 2・午後4時30分頃、バックホーの誘導作業で、バックホーが方向転換するとき、通行者が来たのでバックホーを背に通行者の誘導をしたところ、後進したバックホーのキャタビラに足がひかれそうになった。
- 3・午後12時頃、十字路での道路工事で、トラックの誘導を電信柱とトラックの間で行っていたため危うくはさまれそうになった。



職場環境の

影に潜む

ヒヤリ・ハットを見つけ出し

今日も御安全に!